

出題のねらい・解答例 〔学校推薦型選抜〕

中村学園大学短期大学部〔キャリア開発学科〕

【漢字の書き取り】

問題の指示に従い、漢字を正確に記述する。

【小論文】

〈出題のねらい〉

小論文の出題のねらいは、読解力と論理的思考・展開力である。具体的には、表中のグラフの数値を読み取り、その読み取った数値から自分自身の考えを論理的に表現できているかを問うた。表の数値を読み取る形式を採用したのは、現代社会では与えられた情報を読み取る力や読み取った情報から結論を導く力が必要とされているからである。

今年度は、内閣府男女共同参画局総務課「共同参画 令和4年8月号」より、世界経済フォーラムが2022年7月に公表した「The Global Gender Gap Report 2022」の各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数に関するエッセイ記事から出題した。このエッセイには、ジェンダー・ギャップ指数の評価項目とその読み取り方、国際比較の結果の解説、そして一般的な問題点と解決の方向性が記載されている。与えられた資料を基に、受験生諸君がどのように分析し、自分自身の考えを限られた文字数の中で表現できるのかについて理解したかった。

〈講評〉

問題一 漢字の書き取り

漢字の書き取りの正解は、①整然、②往復、③飾、④拒、⑤丁寧である。間違いとしては、「整然」を書けてない者が最も多く、「飾る」のように送り仮名を記載してしまっている受験生も多かった。また「拒む」の右部首が「臣」となっているものも見受けられた。漢字を学習する際は、その意味を理解しながら覚えるようにする必要がある。

問題二 小論文

まず読解力として、受験生の多くが、我が国のジェンダー・ギャップ指数の改善について評価しつつも、依然として日本が遅れを取っていることを指摘し、特に「経済」及び「政治」における順位が低くなっていることを読み取れていた。

一方で、結論を導き出すまでの論理的思考・展開力は、受験生間で差が大きかった。概ね出題エッセイの本文と重複した内容を記載する受験生が多かったが、中には男性育児休暇の取得の促進や居住する自治体の先進的な取組の普及拡大、スマートフォンアプリを使った解決策といった具体的提案に踏み込んだものもあり、感心させられた。一部の受験生が、LGBTQについて論じていたが、出題エッセイで読み取れる論点とは異なっており、今回の小論文で言及するのはふさわしくないだろう。

評価においては、出題のねらいに記載のとおり、読解力と論理的思考・展開力に加えて、受験生の着眼点の多様性も考慮に加えた。